くろしお版
中日新聞 2017年(平成29年)7月2日(日曜日)

# 紀北町キャンプ場好調

## 宿泊者数、売上高が過去最高

紀北町は、町営キャンプ場「キャンプｉｎｎ海山」(便ノ山)の二〇一六年度利用実績をまとめた。宿泊者は二万五千二百七人(前年度比1・1%増)、売上高(利用料収入)は五千七百三十六万円(1・2%増)で、宿泊者数、売上高ともに過去最高を更新した。(長崎高大)

## シーズン別料金で工夫

同施設は一九九八年にオープンし、二〇〇〇年度以降十七年連続で黒字を達成。背景には銚子川の知名度向上やキャンプブームなどがあり、七、八月の繁忙期は予約がいっぱいになるため、本年度から夏場の料金を高めに、冬場の料金を低めに設定し、夏季以外の利用者増に取り組み始めている。

指定管理者のNPO法人ふるさと企画舎の田上至理事長(五四)は、「県内の他のキャンプ場と比べても安い料金だったので繁忙期は引き上げた。安くなる時期もあるので、より多くの人に利用してもらいたい」としている。

このほかの町営施設の年間利用者は、きいながしま古里温泉(古里)が四万九千八百五十六人(前年度比6・9%減)、自然体験型イベント施設けいちゅう(島勝浦)は千六百十五人(4・0%減)で、いずれも売上高とともに前年度を下回った。

人気を集めるキャンプｉｎｎ海山＝紀北町便ノ山で